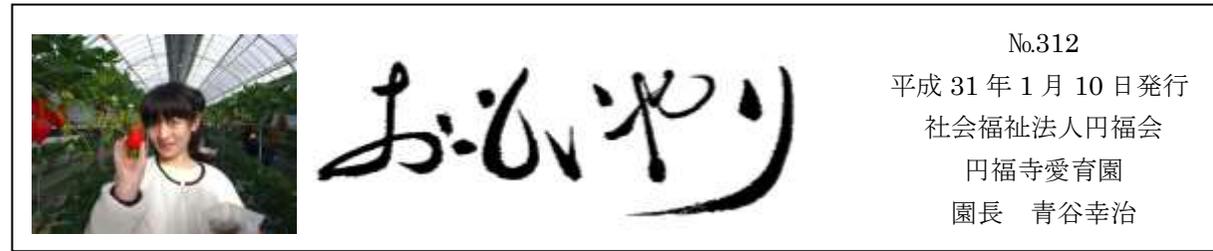


千曲市のアグリパーク様よりイチゴ狩りの招待ありました。大きなイチゴをたくさん食べました。



話すことは聴くこと

理事長 藤本光世

新年あけましておめでとうございます。

今年も 子どもたちのために よろしく願いいたします。

昨年の 11 月 10 日に（なんと、70 周年記念式典の前日でした。）穂高地区青少年育成連絡協議会でお話をさせていただきました。私は 70 周年記念誌「子どもたちのために」の 40 p に「話すことは聴くことである。待つことである」と書きました。上から「こうしなさい」とか「そんなことしちゃだめだよ」と言っても、子どもは変わらないのです。子どもの所まで下りて行かないといけない。そう話して、最後に愛育園の子育てによる子どもの劇的な変化の事実を最もよく表している子どもの作文「今までの自分（中三女子）」を紹介しました。すると、そこに石崎主任保育士が「聴くこと」によってこの子が大きく変化したことが、子どもの言葉で書いてあるではありませんか。私は愛育園に入所した子どもが顔つきまで穏やかに美しく変わる様子をいくつも見てきました。その裏に石崎主任保育士や職員の優れたかかわりがあることが分かってとても嬉しく感動しました。少し長いのですがここに再掲したいと思います。

私は、中学二年の時に愛育園に来ました。愛育園に来る前は学校に行かないし行っても授業も出なくて遊びまわって泊まり歩いて好きなことばっかやっていました。中学二年の時、来年受験で学校の先生とか親に「授業でろ」とか「学校行って」だとか「来年受験なんだよ!？」とか言われて「んなこと分かってるわ」って正直思ってたでもめんどくさい気持ち強くてなんも変わらないままでした。友達に「一緒の高校行こうね」って言われて「うん」って言ったけど高校なんていけるかわからんって思ってあきらめてる部分もでてきてその中で愛育園に来ました。最初は正直家にいた時と真逆で朝と夜の寝る時間も逆で急に十時に寝たり規則正しくて不安だったし一番不安だったのが勉強がすごい不安で今までずっとやってきてないし通分、約分もできないし小四レベルも分かんなくて最初の時はただ来るだけ来てボーっとして何してどう勉強すればいいか分かんなくて勉強の時間に、一時間座ってるなんてムリでした。でも小四の所から少しずつ初めてほんと少しずつできてきました。その少ししか勉強できない中で新しい学校でテストがあってテストは中学一年生の一番最初の間テストをやっただけでそれから本当にやってないからすごい不安で、でも記号で分かんなくてもうめて結果がやっぱりよくなって 0 点が三つありました。「やっぱそうだよな」って思ってこのままテストして意味あるのかなとか考えてこんな辛いな

ら高校なんて行かなくていいやって思って何もかも不安でもどんなに辛くても学校は行こうと思ってでもやっぱり不安で最初の時は早退とかで何回も帰って石崎先生に「もう高校行きたいと思わないしいや」って言ったら辛い時は辛いて言っていていいんだよって言ってくれてためこまないで素直になって辛い時はいつでも相談乗るからって言ってくれてそれだけでまたがんばろって思えました。それからまたがんばろって思ったけどまた不安になって前に石崎先生と話した時素直になるって約束して素直になろうと思って自分から「今日話そ」って言ったら「いいよ」って言ってくれて不安なことを全部言っても前と言ってることは一緒なのに嫌な顔しないで一緒に考えてくれてがんばろうと思ってその繰り返しでどんなに同じことを言っても「大丈夫、Aさんならできるよ」って言ってくれてずっと話聞いてくれてそこから少しずつ本当になくなりました。それで素直になることができるようになりました。それから中学三年にあがって少しずつ勉強もおいついてきて学校の授業も理解できるようになりました。それから勉強の計画を担当の加藤先生が細かく分かりやすく書いてくれて「ファイト」とか一言メッセージを書いてくれて本当にがんばろって思えました。それから少しずつ勉強の時間も増えて量も増えて最初は増えるたびに正直不安でした。不安がたまって加藤先生と言ひ合いになってそれで不安な事を言ったら聞いてくれて話して良かったって思えました。それからふつうに生活してきてすごい変わって今まで園に来て変わった事は、素直になる、勉強をすること、学校に行くこと、授業に出ること、がまんすること、本を読むこと、落ちついて生活すること、何でもチャレンジすること、規則正しい生活をする事皆にとっては当たり前な事をできなかったけど園に来て当たり前をできるようになりました。今までは園に来て学校を一回も休んでなくて自分でもビックリしてます。私の将来の夢は世界中の困ってたりする人に少しでも自分の力を貸すことです。園に来て自分が不安だった時に自分が納得するまで話を聞いてくれて「がんばれ」って軽い気持ちじゃなくて言ってくれてすごい自分の力になれたからです。園の先生を見て困っている人とかを助けて人の役に立ててがんばる人になりたいって思いました。ここまで私が変われたのは青谷先生をはじめ、まごころの先生、あおぞらの先生、周りにいる仲間、園に協力してくれている学習の先生やボランティアとかできてきている関係者の人のおかげです。最後になりましたが私は、三月の受験に受かって自分の夢を叶えられるようにがんばります。

新年のご挨拶

園長 青谷幸治

新年、明けましておめでとうございます。2019 年も変わらず子どもたちの心の安定と自立のために取り組み、成長を見守っていきたく思います。昨年は、創立 70 周年という大きな節目でもあり年間を通して記念事業がございました。管理棟・児童棟の大規模改修、記念誌の発行、愛育園祭、創立 70 周年記念式典の準備など例年になく忙しい年でした。しかし職員と子どもたちが一緒になって行事を成功させたいという目標を持ち、準備から片付けまでスムーズにできることは慣れており、すべての行事において成功と達成感がありました。一段と子どもたちの顔つきと行動に成長の証を感じました。

子どもたちが大きく成長したことは、本人の力でもあり、先生方の本気の養育もありましたが、当園の

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

子どもたちを支援していただいた多くの方々のおかげです。支えていただいたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。4月、6名の新任職員を迎え新たな年度がスタートしました。職員が増えたことで活気がでて子どもたちにとっても喜ばしいことでした。しかし、新任の先生方は子どもたちとの関りに戸惑い、心が折れるような状況もありました。子どもたちも試し行動やコミュニケーションが下手なばかりに良い関係を築くことに時間がかかりました。その中でも先生方も関わる努力をし、子どもたちも先生方と生活を通して距離を近づけていきました。この1年、大きな事故やケガもなく、また大きな問題行動もなかったことを考えると子どもたちが落ち着いた生活ができました。特に中高生は自分の将来を考えて行動できる子が増えたことも見てわかりました。2019年。新たな年を迎え、2人の高校3年生の卒園の準備と4人の中学3年生の高校受験が控えています。最後まで悔いの残らない生活と受験に向き合い、一緒に取り組んでいきたいと思います。昨年以上に「心の教育」「自立」をテーマに養育に力を入れていきたいと思います。そして、当園に縁あって入所した子どもたちをしっかりと社会で活躍できる人に育てていきたいと思います。今年も職員一同、一枚岩となって子どもたちの養育に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

新年のあいさつ

主任保育士 石崎早織

新年あけましておめでとうございます。

昨年も皆様に支えられ、子どもたちも元気に毎日の生活を送ることができましたこと、感謝申し上げます。昨年は大きな行事、円福寺愛育園創立70周年式典も行われ、日々の子どもの様子や、卒園生、在園児の頑張る姿をたくさんの方々に見ていただき、子供たちにとっても良い場となりました。今年の愛育園は節目を迎える児童が多く、卒園を迎える児童が2名、受験を迎える児童が4名います。子どもたちが幸せな道を歩めるよう、より一層力を入れ日々子どもたちの支援を行っていききたいと思います。また全児童が自分のために、自分の目標に向かって頑張れるよう、今年も職員が一丸となり頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

新年の挨拶

あおぞらホーム長 富沢正樹

新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、創立70周年の記念式典が行われ、大勢の方々に愛育園の様子を知っていただくことができ、非常に嬉しく思いました。私自身も、これまでの事を振り返るきっかけを頂き、今後の課題や目標を見つけることのできた一年でありました。私は、これまで通り、夢、行事、日課の3つの柱を大事に、今年も、子供たち一人一人が夢中になれるものを一緒に見つけてあげたいと思っています。将来の職業であり、部活であり、勉強であり、打ち込むものがある人は輝きを増します。愛育園の子たちは、「頑張る」事を知っています。今年も、更に、子供たちが自分自身で真から頑張りたいというものに巡り合わせたいと思っています。そのためには、私自身、様々勉強が必要ですし、今までよりもっと子供の事を知る為

(平成31年1月10日発行 月刊「円福」460号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

に関わる時間を増やさないといけません。新年を迎え、気持ちを引き締め、何が大事な事なのかを常に自分に問いながら、良い一年にしていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

新年の挨拶

調理主任 伊藤 慈子

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年中は、たくさんの方々に、いろいろな面で支えて頂き、子供たちは一年を無事過ごすことができました。ありがとうございました。振り返ってみますと、昨年中もいろいろな行事や催し物がありました。天候に恵まれず中止になったものや、延期になったものもありましたが、子供たちが「がっかり」しないようにホーム職員は様々な意見を出し合い、子供たちの楽しみにしている気持ちを裏切らないように工夫し成功させてきました。私たち調理も陰ながら、協力し参加させてもらって一緒に楽しむことができました。とても素晴らしい一年でした。また、旬の果物や野菜など頂いたいろいろな食材を、調理では無駄にしないよう工夫し、手作りおやつや食事メニューにどんどん取り入れ、たくさん使わせていただきました。子ども達も喜んで食べてくれ、心と体の成長に役立ち助かっています。とてもありがたい事です。地域の皆様や、愛育園を応援して下さる方々に支えられていることをとても実感します。これからもそのご好意を無駄にしないよう感謝し、美味しく料理して、子供達に食べさせていきたいと思います。そのためには、調理のチームワークを良くし、『報連相』を密にし、意見を出し合い、より良いメニューになるよう協力して努力していきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

東京研修旅行

あおぞらホーム 山田忍

12月8、9日 愛育園ではディズニーランドへ研修旅行に行ってきました。

子ども達は何日も前からとても楽しみにしており、自分も子どもたちと一緒にしてお土産を考えたり、どのアトラクションに乗るか考えたりする時間がとても楽しかったです。一週間前くらいから体調が悪く学校を早退してくる子もいて心配もしていましたが当日は体調の悪い子は一人もおらず全員揃って行くことが出来本当に良かったです。一人一人ディズニーランドへ行くまでの間の目標を決め、みんな頑張っていました。あっという間の二日間でしたが帰ってきてからの今年の締めくくりの目標も新たに決めてまた来年みんなで行かれるように子どもたちと一緒に過ごしていきたいなと思います。



『TDL&横浜観光』

まごころ保育士 竹内早季

12月8日、9日に東京ディズニーランドと東京、横浜観光に行ってきました。今年で3年連続となるこの旅行ですが、子どもたちはとても楽しみにしており、「ディズニーに行く」という発表があったから毎日子どもたちから「あれに乗りたい!」「お友達におみやげを買いたい!」と話がありました。おみやげのカタログ本やアトラクションのガイドブックを子どもたちと一緒に眺め、わくわくした気持ちを共有できて嬉しかったです。今回の行動班は担当職員と児童同士の組み合わせになっており、私は自分の担当児童3人と一緒に過ごしました。3人とも自分の乗りたいアトラクションや食べたいものがあり、意見をすり合わせるのが少し大変でしたが、少しずつ譲り合ってくれたので大きな問題もなく行動できました。普段、担当児童とは学校のことや生活の事で多少口うるさくなってしまうことがあり、楽しい事も耳の痛い話もしてきていますが、この旅行では普段以上にリラックスして純粋に楽しく過ごすことができました。他愛のない話をする時間も大切だなと感じました。二日目は高校生たちと同じグループで横浜観光として、ランドマークタワーと中華街に行きました。舞浜駅から切符を買い、電車で横浜まで移動しました。高校生たちは普段滅多に電車を利用しない子たちばかりだったので切符を買うのにも恐る恐るといった様子でしたが、無事電車に乗れるとほっとしていました。こういった経験もい



い勉強だなと思いました。ランドマークタワーでは横浜の景色を一望できる展望室で景色を楽しみました。普段見る事のない海沿いの町の風景はとても新鮮で、子どもたちも感心した様子でした。そして、みんなが楽しみにしていた中華街で昼食をとりました。中華街はとても活気づいていて中国語もちらほらと聞こえてきました。中華料理はどれもとてもおいしく、大満足でした。二日間、子どもたちと一緒に過ごす中で写真をたくさん撮りましたが、

どの写真も笑顔で写っていて楽しんでいる様子がわかり、見返すとこちらまで笑顔になります。子どもたちからも「楽しかった!」「また来年も行きたい!」と話が数日経った今でも話が出てきます。この楽しかった思い出を胸に、また1年間頑張っていけたらと思います。

あおぞらホーム S. T

12月8日ぼくは、はじめてのディズニーランドに行きました。最初はどのような所かも知らなくてどうするかもわからなく先生が何のりたい?とこたえてくれてスターツアーズがいいと言ったら最初にらせて

くれてうれしく良かったです、それからバズライトイヤーのファストパスをもらってステッチにのり、ステッチと話せるけど選ばれませんでした、それでバズライトイヤーに乗りはじめてでしたけど教えてもらい6200点でした。ぼくはいっぱい思い出がつまった一日のディズニーランドになって本当に良かったです、またいけたらいいなと思います。

あおぞらホーム Y, Y

12月8、9日にディズニーランドに行きました。今年で2回行きました、朝2時に愛育園を出発しました、ぼくの班は佐々木先生の班でした。最初にスプラッシュマウンテンに乗りました、とても楽しかったけどこわかったです。一番最後に乗ったのはバズライトイヤーです。なかなか得点は出なかったけど楽しかったです。2日目は、水族館に行きました。去年も水族館だったけど今年の方がすごかったです。とても楽しかったです、この大きな機会を忘れないで愛育園の生活をがんばりたいです。

『ディズニーランド』

小3 Kくん

このまえ、ディズニーランドに行きました。ディズニーについて、まず、ならんであいたら、ファストパスをとりについて、ステッチにのりました。ステッチとしゃべったりしてとても楽しかったです。あと、スターウォーズにのりました。めがねをかけて、ゆれたり、おいかけられたりして、びっくりしました。こんどは、ホーンテッドマンションにのりました。1時間で、まてなかったけど、中に入ったら、がいこつとかいっぴいのバケモノとかいっぴいいました。楽しかったです。それで、昼にして、ぼくはピザをたべました。6こ食べました。こんどは、ピーターパンにのりました。高く船がとんでいて、すごかったです。あと、でっかい船ものりました。森のぼうけんができて、すごかったです。そして、メリーゴーランドにのりました。楽しかったです。それで、TくんとかSくんが、足がたいくつなのでおかいものをして、もどりました。そして夜にBBQをしました。おいしかったです。またたべたいです。そして、夜10時までおきていました。朝になって、朝ごはんにおさしみをたべました。かんどうしました。そして、アクアパークにサメがいました。そして、3匹が目の前にきました。人形をかいました。ぼくは、サメをかいました。そのあと、イルカショーを見ました。大きくジャンプしていました。楽しかったです。二日間、かんどうの思い出になりました。来年もいきたいです。

『ディズニーランド&アクアパーク品川』

小4 Mさん

今日は、ディズニーランドに行きました。私は、初めてのものが多かったけれどたくさん乗れてうれしかったです。さいしょに、ビッグサンダーマウンテンにのりました。とてもこわかったです。スプラッシュは初めてののに、一番前にのりました。とてもこわかったです。今日はもうのりたくなかったです。おみやげをみました。ほしかったマリーのぬいぐるみを買って、うれしかったです。夜は、とてもものりたかった、ダンボが乗れてとてもうれしかったです。花火もみえてうれしかったです。ホテルで

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

マリーのぬいぐるみといっしょにねました。二日目のアクアパーク品川ではイルカショーのときにイルカからクリスマスプレゼントがきて、プレゼントはイルカから水がとんできました。二日目のおみやげはペンギンの人形とピンク色のペンギンのハンカチと、チンアナゴを買いました。とてもうれしかったです。また行きたいです。

『東京ディズニーランドと横浜観光の思い出』 高3 Sさん

12月8日、9日に愛育園のみんなで一泊二日の旅行に行ってきました。

1日目は東京ディズニーランドへ行きました。今年も行くことができ、とてもうれしかったです。園長先生に感謝しています。今回のディズニー班は担当の先生と子どものペアでした。残念ながら私は担当の青谷先生と同じ班ではなかったけど、小学生や卒園生の交じたグループでとても楽しかったです。乗ったアトラクション全てが楽しかったですが、その中でも「イツ・ア・スモールワールド」がとても印象に残っています。はじめて乗ったそのアトラクションは、少し色味が淡く、パステルカラーが多くを占めていました。そして、さまざまな国のお洋服を着たお人形たちが歌ったり、踊ったり、笑っていて私も明るい気分になりました。楽しかった！卒園生のNちゃんと、二人で話す時間がありました。働くのは大変なのか、つらいことはあるのかなど卒園が迫っている今の私には貴重な、リアルな声を聞くことができました。とても励まされました。Nちゃんのようにしっかり働いて、来年の行事に参加できるような卒園生になりたいと思います。この日は、同じ班の小学生ともたくさん話すことができました。手をつなげたり、仲良く話せて、とてもうれしく思いました。卒園までに頼りにしてもらえようような高校生になりたいなあと思います。二日目は、高校生組で横浜へ行きました。初横浜で、電車からもう都会だ！という感じがして驚きました。最初に行ったランドマークタワーでは高さがすごくて怖いくらいでした。お昼を食べに中華街に行きました。第一印象は「中国だ！」でした。いろんなところから中国語が飛び交い、中国の方も多くいました。お店については、ひたすら中華料理を食べました。初の小籠包を食べて、本当にスープが出てくるのかと驚き、味のおいしさにも驚きました。本物然としているマーボー豆腐やエビマヨなど、全てがとてもおいしかったです。

帰りのバスで糸賀先生とたくさん話すことができ楽しかったです。この二日間はとても楽しく思い出に残っています。楽しかった分、これからの生活も目標に向けて頑張りたいと思いました。

クリスマス会 あおぞらホーム 近藤 誠志郎

12月23日(日)に愛育園では、一足早いクリスマス会が行われました。この日の為に先生達や高校生は出し物を考えて練習し、またそれ以外でも会場となるロビーにイルミネーションの飾り付けも行いました。夕食を食べ、待ちに待ったクリスマス会です。小学生の子達は何が出てくるんだろうと興味津々、始めに行われたのはまごころの先生達による手袋を使ったパフォーマンスです、またその後にはカップソングも披露してくれました。どちらも連携のとれた素晴らしいパフォーマンスで、終了したときには

(平成31年1月10日発行 月刊「円福」460号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

子ども達から大歓声が沸きました。次に出てきたのはドラえもんに出てくるキャラクターに扮した先生と高校生たちです。のび太役をしたS君、スネ夫役をしたH君、ジャイアン役をしたA君、そして女装でしずちゃん役をしたR君、どれも適役で大盛り上がりとなりました。次に出てきたのはあおぞらの先生達による今流行りのジャニーズのグループ、キング&プリンスのダンスです。ぎこちないダンスとなり、それが功を奏して大盛り上がりとなりました。その後はトランプ大統領、フリーザ、進撃の巨人やイッコー、さらには楽天カードマンまで飛び出し、最後はみんなで歌の大合唱、クリスマス会は大盛り上がりで終える事ができました。毎年、この会を楽しみにしてくれている子ども達に最高の笑顔のプレゼントができたと感じます。一生懸命にみんなのためにモノマネをした高校生たち、会場を華やかにしようと準備をしてくれた中学生たち、素直な気持ちで盛大に笑った小学生たち、みんなの純粋な心を見る事ができたひと時となりました。これからも愛育園にたくさんの笑顔の花を咲かせられるよう、努力していきたいと思います。



クリスマス会 まごころホーム 保育士 有賀真知

毎年恒例のクリスマス会が、今年も愛育園で行われました。クリスマス会では毎年、職員や高校生が出し物をして盛り上げます。今年、まごころホームの保育士は、「手袋ダンス」と「カップソング」を披露しました。「手袋ダンス」は色のついた手袋を身につけ、子どもたちが大好きなディズニー映画「アラジン」の曲に合わせて、手で星を作ったり魔法のじゅうたんに見立てたりしました。手袋ダンスの後ろで動かすキャラクターパネルは、まごころホームの高校生が作ってくれました。「カップソング」はプラスチックのコップを机に打ち付けて音を鳴らしたり、手拍子を加えたりしてリズムを奏でるものです。みんなで同じリズムを揃えたり、人数をだんだん増やしたり、隣の人と違うリズムを叩いたりと色々な方法でリズムを奏でるため、リズムを覚える事にとっても苦戦しました。本番、子どもたちは何が始まるのかと興味津々な様子でした。まず、手袋ダンスが始まると、子どもたちはパッと笑顔になりました。そしてゆったりとした音楽にのせてカラー手袋の動く様子に見入っていました。次にカップソングでは、次々と代わるリズムやコップの鳴らし方に、驚いたり真剣にコップを目で追ったりする姿が見られました。演奏が終わると子どもたちから大歓声上がり、達成感を味わうことが出来ました。この発表を機に、職員同士も改めて気持ちを一つにすることが出来たのではないかと思います。これを日々の業務にも繋げていきたいと感じました。

あおぞらホームの職員と高校生の発表もとても面白く、子どもたちと職員が一緒になって大笑いしました。とても温かく和やかな雰囲気に包まれたクリスマス会になりました。

クリスマスディナー

栄養士兼調理員 原 未華

今年もクリスマスの時期がやって来ました。食堂には子どもたちが可愛く、丁寧に作ってくれたクッキーが飾られた大きなクリスマスツリーあり、夜になると愛育園がきれいにイルミネーションされています。クリスマスの時期が近づいてくると、食事の時でも子どもたちの会話の中でサンタさんをお願いしたクリスマスプレゼントの話で出て来ます。本当にクリスマスを楽しみにしていると感じます。ささやかながら、調理から子どもたちにクリスマスプレゼントとして、クリスマスイブの夕食ではクリスマスディナーを提供させていただいています。子どもたちの期待以上にえられるように調理全員でメニューを考えました。去年は去年で、今年は今年のクリスマスディナーにしようと思いや案を出し合いました。決定したクリスマスメニューはケチャップライス、コーンポタージュ、ローストチキン（中高生・先生方）、手羽元の甘辛煮（小学生）、キッシュ、ポテトサラダ、フルーツの盛り合わせ、ジュースです。ポテトサラダは黄パプリカ、きゅうり、人参を使用してアレンジし、フルーツの盛り合わせではりんご、いちご、キウイフルーツを3種類選びました。時間があっという間に過ぎる中で、私たち調理も子どもたちに喜んでもらうために、精一杯作りました。また、あおぞらの中高生と先生方でかわいい風船などを使って、食堂をきれいに飾り付けしてくれました。きれいに飾り付けしてくれた食堂がよりいっそう楽しいクリスマスディナーになりました。夕食後には、子どもたちから「おいしかった。ありがとう。」とたくさん言ってもらえたのでうれしかったです。素敵で楽しいクリスマスディナーでした。



第三回円福杯

あおぞらホーム 倉島

11月25日に第三回円福杯球技大会が行われました。本当でしたら9月に行われる予定が台風の影響で延期となり、しかし、多くの方のご協力、参加して下さるチームの皆さんのおかげもあり、無事開催することが出来ました。私たちのチーム「園福寺愛育園少年少女野球団」は、六年生1人、五年生3人、四年生2人、三年生1人、二年生1人の合計8人の園の子と、外部から参加して下さる三年生2人、二年生1

人が加わった計11人で活動しています。私はこのチームのコーチを今年からやらせて頂いています。最初は低学年の子が多いせいか、練習すらできず、拗ねてしまう子がいたり、泣いてしまう子がいた



り、やる気を感じられない子ばかりでした。そんな子達の相手をしているだけで練習が終わってしまう日もありました。日々どうしたらいいんだろう、「野球の楽しさ」をどうしたら分かってもらえるのだろうと悩み、迷う日が続きました。そんな時、このチームを長く指導してくださっている、「日詰コーチ」に言われました。「継続は力なり、辛抱が必要だよ」と。幼いころから野球をやってきた私にとってこの言葉は聞き飽きたはずの言葉でした。しかしこの時はすごく納得したのを覚えています。子ども達が悪いわけではない、指導している者の熱意が足りないのだと、それが子ども達にも伝わってしまっているのだと感じました。それからは休みの日でも、全ての練習を見るようになりました。選手たちは日に日に上達し、10月に行われた「ウィンズ杯」では、Bチームの部で「優勝、することが出来ました。初めて勝つ喜びを教えることが出来ました。今大会、結果は4位でした。たくさんの人達の声援・応援があり、いろいろな人たちが選手たちに「よく頑張った」「いい試合だった」「こんなに上手になったんだね」という言葉をかけてくれました。実際、選手たちは本当によくやってくれました。五年生のY君は堂々としたピッチングを、同じく五年生のR君はヒットを打ち、守備でもチームを救ってくれました。選手一人一人が自分の出来ることを精一杯頑張っており、見ているこっちが感動してしまうほどでした。そして、この大会で引退となってしまふ六年生のMちゃんがあります。Mちゃんは、最初はキャッチボールすらできず、バットにもボールが当たらず、すぐ泣いてしまう子でした。そんなMちゃんは、私がこの一年通した中で、誰よりも上達したと思う子です。今では、ボールを外すことはめったになく、ファーストを任せられ、バッティングはチーム一位で、4番を任せられるほどにまで成長しました。当初の実力から考えると選手たちの大きな成長を感じることができた大会でした。

しかし、私自身、悔しいのも事実です。もっとできた、子ども達の力はこんなもんじゃない、子ども達のひたむきさ、努力が報われるようにならないと強く感じました。今シーズンの試合は終了してしまいましたが、また来年度に向けて選手と共に頑張っていこうと思います。最後に、日々、少年野球に顔を出してくれる保護者の皆様、並びに見守ってくださる地域の皆様、そして円福杯にご尽力いただいた全ての方に感謝を申し上げます。一年間ありがとうございました。また来年度もよろしくお祈りします。



屋代高校附属中学受験を終えて

まごころ 渡邊梓

12月1日に屋代高校附属中学の受験が行われ、愛育園からも一人、中学受験に挑戦しました。小学6年のSさんは、昨年自分も6年生になったら中学受験をしてみたいと言っていました。それは、昨年、一昨年と愛育園の児童が受験に挑戦する姿を見ていたこともあり、また、附属中学に進学して卓球部に入りたいという思いがあっ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

たからです。元々、学習することは嫌いではなかったようですが、得意教科はやりたいけど苦手な問題は後回しにしてしまうことも時々ありました。受験するなら、苦手な問題でも頑張って解こうと決め、4月の終わりから塾に通い始めました。初めての塾に少し緊張している様子もありましたが、気が付けばあっという間に塾にも慣れていました。通い始めは難しい問題を前に「どうやるの〜？」と苦戦していましたが、どんどん自分で考える、自分で調べる、自分で解くことが増え、最終的には「勉強が楽しい、苦手だった科目が得意になった！」と話しており、ものすごい成長だなと感じました。受験の結果は惜しくも不合格でしたが、すでに「高校でリベンジ！」と意気込んでいる姿や、苦手科目も逃げずに取り組む力を身につけたことは、中学受験を通してSさんが学び、大きく成長した証だと思います。また、受験当日の朝、試験会場に向かうSさんに園のみんながあたたかなエールを送ってくれたことは、Sさんにとってとても大きな力になったと思います。頑張る人を心から応援できることが愛育園のみんなの良い所だなと、改めてSさんの受験を通して感じました。



年末大掃除

まごころホーム保育士 加藤ゆかり

12月23日は毎年、愛育園全員で年末大掃除を行います。今年もみんなで大掃除を行いました。まずは居室です。日頃から、部屋を綺麗に保つことを心掛けている子は多いですが、棚を動かしてみるとホコリやゴミがたくさん出てきたり、整理整頓をする中で要らない物が出てきたりと、やることは盛りだくさんでした。隅々まで掃除をしたり、断捨離をしたりすることで、子ども達の表情もどこかスッキリとしていました。それぞれの居室の掃除が終わると、次は児童棟や管理棟などの共有スペースの掃除に取り掛かりました。児童棟や管理棟も毎日掃除をしていますが、窓拭きや、物を動かして掃除するなど、普段の掃除の時間内には手の届かないところがたくさんあり、みんなで協力して行いました。みんなが使う場所をみんなで綺麗にすることが出来て、とても良かったな、と思いました。午前中で終わらなかった分担任もありましたが、手の空いている子が「手伝うよ！」と声を掛けてくれ、午後でも短時間で掃除をやり切ることが出来ました。愛育園がピカピカになって、とても気持ちが良いです。綺麗な空間を保てるよう、また心掛けていきたいです。新しい1年を気持ちよく迎えられそうです。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 宮原徹

12月はクリスマスシーズンということで、ホームの中でもクリスマスに向けての準備やクリスマスイベントを楽しみました。中高生は園の庭にイルミネーションの準備を手伝ってくれました。木や手すりへの巻き付けや、光のトンネルの作成、巨大なクリスマスツリーの設置と飾りつけをしました。寒い

(平成31年1月10日発行 月刊「円福」460号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

中での作業で手がかじかむ中でも一生懸命取り組み、また何度も試行錯誤をして1週間以上かけてようやく完成しました。点灯式では、大迫力で幻想的なイルミネーションが完成し、大きな歓声が上がりました。とても素敵な雰囲気子どもたちはとても満たされた表情をしていました。またクリスマス日にはクリスマスケーキをお腹一杯食べたり、小学生はサンタさんに手紙を書いてプレゼントをもらったりと素敵なクリスマスになりました。子どもたちにとって今年のクリスマスも幸せに満ち溢れた良い思い出になりました。

まごころホームだより

まごころホーム 橋本 雅

2学期が終わり、冬休みを迎えました。宿題をしたり、年末に向けて大掃除をしたりと大忙しです。登校最終日には嬉しそうに帰園し誇らしげに2学期の頑張ったことを話してくれました。また通知表からも子ども達の頑張りが見えとても嬉しく感じます。園の行事では、8日・9日は、ディズニーランド&東京・横浜に行きました。1日目はディズニーランドに行きました。当日は、天気が良くとても混んでいましたが、班の中で手分けをしてファストパスを取りに行ったり、乗り物に並んだりしました。みんな協力し沢山の乗り物に乗ることができました。また、お土産を買ったり、美味しい物を食べたりと、とても楽しかったです。2日目は中学生とデジタルアートミュージアムに行きました。沢山の作品がありとても感動しました。小学生や高校生もそれぞれの場所が「楽しかった」と嬉しそうでした。2日間、思いっきり楽しむことが出来ました。23日は、クリスマス会がありました。カップソングや手袋シアターを披露したり、お笑い芸人などが登場したりと、とても楽しく笑顔が絶えず大盛り上がりでした。その後、クリスマス会の話しながらケーキを食べました。美味しかったです。素晴らしいクリスマス会でした。

調理室だより

大下はる江

師走に入り調理では、クリスマスツリーのオーナメントを子ども達の手作りクッキーで飾りました。食堂は甘い香りに満たされプレゼントを届けに来たサンタさんも思わず手を伸ばしそうです。4日には初代園長先生命日特別メニューとして五目おこわ、茶碗蒸し、わかめのすまし汁、ほうれん草の胡麻和え、そして理事長先生よりシュークリームを頂き初代園長先生を偲びました。そして、いよいよ23日はクリスマス会と大掃除を行いました。ホールにてまごころの先生あおぞらの先生による素晴らしいショーに思いっきり笑い、楽しませて頂きました。大掃除は日頃手の届かない換気扇をKくんとあおぞらの先生で丁寧にきれいにしてくださりありがとうございます。窓も床も器具もピカピカになり、年神様をお迎えする準備が整いました。